あなたの知らないマンホール蓋の世界

～絵柄のモデルとなった場所やマンホールカードなども紹介します～

道路上のあらゆる場所に存在するマンホール。下水道や通信ケーブルなどの管理を目的として作業員が地上から出入りできるように作られた穴で、そこに取り付けられた蓋には、その土地の景色や特産、キャラクターなどが描かれ、近年、カラフルな模様に惹かれて訪ね歩くファンが増えています。また、下水道の広報を目的とする団体「下水道広報プラットホーム」と全国の自治体が共同で制作している「マンホールカード」も注目を集めており、滋賀県では8種類のマンホールカードが作成されています。

今回はマンホールカードとなっているものを中心に、ご当地マンホール蓋を紹介します。現地でしか手に入らないマンホールカードをゲットし、カードに描かれた景色を探しに出かけてみませんか。

※マンホールカードの在庫が少ない場所もあります。訪問の前に必ず各問合せ先までご連絡ください。

滋賀県のご当地マンホール蓋（一部）
淡海環境プラザ（草津市）では、過去に使われていたものも含め、県内の色々なマンホール蓋を展示しています。

◆マンホールカードとは

下水道への理解・関心を深めてもらうために、その地域の特色あるマンホール蓋をモチーフに、下水道の広報を目的とする団体「下水道広報プラットホーム」と全国の自治体が共同で制作しているコレクションカードです。2016年から配布が始まり、現在全国で478種類あります。販売や郵送での対応はしておらず、入手するには現地を訪れる必要があります。カードの左下には、実物のマンホール蓋が設置されている位置が、カードの裏面にはデザインの由来などが書かれています。

滋賀県には8種類のマンホールカードがあり、そのうち滋賀県流域下水道のカードは草津市の淡海（おうみ）環境プラザで配られています。多い月には100枚以上の配布があり、県内外から多くの人がマンホールカードを手にしています。

●配布場所：淡海環境プラザ（草津市矢橋町帰帆2108）
●アクセス：JR「南草津駅」より車で約15分
●配布時間：9:00～16:30
●休 館 日 ：土、日、国民の祝日、
　　年末年始および夏季集中休暇
●問合せ先：077-569-5306

◆大津市のマンホールカード

大津市制100周年を記念したマンホール蓋のリニューアル版で、琵琶湖に浮かぶ船「ミシガン」、大津市の観光キャラクター「おおつ光ルくん」や市の鳥ゆりかもめなどが描かれているカラフルなデザインです。花火は大津の夏の風物詩「びわ湖大花火大会」をイメージしたもので、湖上に打ちあがる花火の景色はぜひ間近で見てほしいイベントです。JR大津駅前など市内の11箇所に設置しています。

JR大津駅から琵琶湖に向かって15分ほど歩くと大津港があります。大津港では、マンホールに描かれている琵琶湖の景色が広がっています。

●設置場所：JR大津駅前など市内11箇所
●配布場所：大津市水再生センター
（滋賀県大津市由美浜1-1）
●アクセス：京阪電鉄「錦駅」より徒歩約15分
●配布時間：9：00～17：00
●問合せ先：大津市下水道課
TEL　077-528-2764

晴れた日の大津港の様子

◆彦根市のマンホールカード

ひこにゃんマンホール蓋

彦根城とひこにゃん
©彦根市

標準蓋

彦根市のマンホールカードは2種類あり、そのうちの1つは、国宝・彦根城築城400年祭を記念して誕生した、彦根市のキャラクター「ひこにゃん」が 中央に大きく描かれています。背景には彦根市の花「はなしょうぶ」があしらわれています。このマンホール蓋は、彦根駅前西口広場と京橋口駐車場付近の2箇所で見ることができます。

一方、本物のひこにゃんは、彦根城天守前や、付近にある四番町スクエアなどに毎日出陣し、愛らしい姿を披露しています。マンホールカードをゲットした後は、ひこにゃんに会いに城下町を散策してみては。
※ひこにゃんの出陣スケジュールついては公式サイトをご覧ください（https://hikone-hikonyan.jp/）

＜ひこにゃんマンホール蓋＞
●設置場所：JR彦根駅前西口広場など市内2箇所
●配布場所：ひこね食賓館四番町ダイニング
（彦根市本町1-7-34）
●アクセス：JR「彦根駅」より徒歩約25分
●配布時間：10：00～19：00
（但し、12月・1月・2月は10：00～18：00）
●問合せ先：彦根市 下水道建設課
TEL　0749-22-5458

＜標準蓋＞
●設置場所：彦根城桜場駐車場付近の１個所
●配布場所：彦根市下水道建設課
（彦根市尾末町1番38号　市民会館1階）
※土日・祝日は彦根市役所彦根駅
西口仮庁舎宿直室
（平和堂　アル・プラザ彦根）
●アクセス：JR「彦根駅」より徒歩2分
●配布時間：8：30～17：15
●問合せ先：彦根市 下水道建設課
TEL　0749-22-5458

◆草津市のマンホールカード

草津市のマンホールカードは、いずれも東海道にちなんだ2種類の絵柄です。1つ目は、東海道と中山道の分岐に建てられた草津市指定文化財の追分道標です。東海道・中山道を往来する旅人の道しるべとして親しまれ、この街道を往来する人々の寄進によって建てられたと伝えられています。実物の追分道標にもくっきりと「右東海道いせみち」「左中仙道みのぢ」と刻まれており、高さは392.2cmと存在感があります。

実物のマンホール蓋は、草津宿本陣通りで見ることができます。

●設置場所：草津宿本陣通り
●配布場所：くさつ夢本陣
（草津市草津二丁目10番21号）
●アクセス：JR「草津駅」東口より徒歩約12分
●配布時間：9：30～18：00
●休 館 日 ：年末年始（12月29日～1月3日）
●問合せ先：くさつ夢本陣
TEL　077-563-3700

追分道標

2つ目は、浮世絵師・歌川広重の作品「東海道五拾三次之内草津」をモチーフにており、江戸時代の東海道草津宿の様子を表現しています。

草津宿は、東海道五十三次の52番目の宿場町で、当時70件以上の旅籠で賑わっていたとされています。

このマンホール蓋は旧東海道のわき道などにあり、周辺には国指定史跡の草津宿本陣や草津宿街道交流館といった、歴史を感じる建物が点在しています。趣のある草津の町並みをカメラに収めながら町歩きも楽しめます。

●設置場所：込田公園周辺など市内３６箇所（H31,3現在）
●配布場所：草津宿街道交流館
（草津市草津3丁目10番4号）
●アクセス：JR「草津駅」東口より徒歩約15分
●配布時間：9：00～17：00
●休 館 日 ：毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、
祝日の翌日(土・日曜と重なった場合は開館)、
年末年始(12月28日～1月4日)
●問合せ先：草津宿街道交流館
TEL　077-567-0030

国指定史跡　草津宿本陣

草津宿街道交流館

◆栗東市のマンホールカード

栗東市の木であるキンセンカと花の貝塚伊吹、鳥のメジロをあしらったカードは、昨年の12月に制作されてから一か月で900枚以上が配布された人気のカードです。JR手原駅にある栗東観光案内所で手に入ります。その案内所ではカードの配布以外にも、日本中央競馬会（JRA）のトレーニング・センターがある「馬のまち・栗東」にちなんだ名馬のパネル展示や、栗東市の名産品の販売などを行っています。

実物のマンホール蓋は、JR栗東駅前などで見ることができます。

- ●設置場所：JR栗東駅前など市内3箇所
- ●配布場所：栗東観光案内所（栗東市手原三丁目1-30）
- ●アクセス：JR手原駅2階
- ●配布時間：平日8：30～17：15
  土・日曜日、祝日は8：30～12：00
  ※こんぜめぐりちゃんバス運行期間中
  （春季および秋季）は8：15～17：00
- ●問合せ先：栗東観光案内所　TEL077-551-0126

栗東観光案内所

名馬のパネル展示

サラブレットのゼッケン
を再利用したバッグ

◆豊郷町のマンホールカード

豊郷町は、滋賀県に伝わる「江州音頭」（ごうしゅうおんど）の発祥地で、江州音頭を踊る人と提灯、そして町の花であるツツジをモチーフにしています。こちらも昨年の*12*月に制作されてから一か月でおよそ1000枚以上が配布された人気のカードです。

配布場所の豊郷町観光協会がある豊郷小学校旧校舎群は、昭和12年に近江商人、商社「丸紅」の専務であった古川鉄治郎氏によって寄贈された、建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズ氏設計の建物です。当時は、「東洋一の小学校」といわれ、平成25年には国の登録有形文化財に登録されました。

（※フルカラーのマンホール蓋は豊郷町観光協会の展示のみで、単色のものが町内全域に設置されています。）

- ●配布場所：豊郷町観光協会（豊郷町石畑518　豊郷小学校旧校舎群　酬徳記念館内）
- ●アクセス：近江鉄道「豊郷駅」より徒歩約10分
- ●配布時間：9：00～17：00
- ●休業日　：年末年始(12月29日～1月3日)
- ●問合せ先：豊郷町役場産業振興課　TEL0749-35-8114

豊郷小学校旧校舎群

階段手すりにあしらわれた
ウサギとカメのオブジェ

日曜日限定OPENの
「うさかめカフェ」

◆まだまだ見どころたっぷり！ご当地マンホール蓋

ご当地マンホール蓋は描かれた観光地付近に設置されていることが多く、写真の撮り歩きも楽しみの一つです。ここでは、マンホールカードにはなっていないものの、県内各地にまだまだあるご当地マンホール蓋の一部を紹介します。

撮影地：近江八幡市八幡堀付近

八幡堀

近江八幡市のマンホール蓋は、時代劇のロケ地でもおなじみの八幡堀の情緒ある風景がそのまま表現されています。八幡堀は、安土・桃山時代に城下町が栄える要因となった町の一大動脈です。堀に沿って白壁の土蔵や旧家が立ち並び、華やかだった当時の様子が伝わります。保存修景運動でよみがえった八幡堀は、絵画や写真愛好家、地域住民の憩いの場となっています。四季を通じて近江八幡の景色を楽しむことができます。

●住　　所：近江八幡市大杉町（ヴォーリズ像・明治橋の近く）
●アクセス：JR「近江八幡駅」からバスで7分
●付近の観光地：八幡堀、日牟禮八幡宮、八幡山ロープウェー、かわらミュージアムなど
●問合せ先：近江八幡駅北口観光案内所　TEL：0748-33-6061
●参考URL：https://www.omi8.com/
※マンホール蓋に関する問合せは、近江八幡市文化観光課(0748-36-5573)までお願いします。

撮影地：八幡神社参道

５月の八幡神社

甲良町の絵柄は中央にカメの“こうら”と、満開の藤の花が描かれています。戦国時代から江戸時代初期にかけての武将・大名である藤堂高虎の生誕地、在土（ざいじ）にある八幡神社の参道に設置されています。藤の花は毎年５月上旬頃が最盛期で、棚いっぱいに房が下がります。一房が１m以上のものあり、さながら藤のカーテンのようです。5月に行われる藤切祭りでは、東京の藤堂家に藤の花を贈ることが恒例行事となっています。

＜八幡神社について＞
●住　　所：滋賀県甲良町在士523
●アクセス：JR「河瀬駅」よりバス乗車、「甲良町役場前」または、
　　名神高速道路湖東三山スマートインターより7分
●問合せ先：甲良町観光協会　TEL：0749-38-2035
※マンホール蓋に関する問合せは、甲良町建設水道課（0749-38-5068）までお願いします。

撮影地：大津絵の道入り口（大津市）

大津絵の店

「市の木（山桜）、市の花（叡山すみれ）、市の鳥（ゆりかもめ）」を中心に、大津絵の「藤娘」と「鬼の寒念仏」を左右に、下段にびわ湖と瀬田の唐橋をあらわしたデザインです。このマンホール蓋が設置されているのは市内の6箇所で、そのうち5枚がJR「おごと温泉駅」付近にあります。

大津の代表的な郷土みやげとして、もっとも広く知られているのが大津絵です。現在は皿や湯呑み、木製製品まで多種多様なものがありますが、もともとは紙に書かれた絵です。いつ頃から描き始められたのかはわかりませんが、江戸時代初めから逢坂山（おうさかやま）を越えた大谷・追分あたりで、東海道を行き交う人々に売られていたといわれています。

＜大津絵の店について＞
●住　　所：大津市三井寺町3-38
●アクセス：京阪電鉄「三井寺駅」より徒歩約10分
●営業時間：10:00～17:00
●定休日　：第１・３日曜日
●問合せ先：大津絵の店　TEL：077-524-5656
●参考URL：http://www.otsue.jp/
※マンホール蓋に関する問合せは、大津市下水道課（077-528-2764）までお願いします。
また下記URLもご覧ください。
参考URL：http://www.city.otsu.lg.jp/kigyo/about/sewer/tokushu/1454032284768.html

撮影地：JR守山駅（守山市）

守山ゲンジボタル

守山市のマンホール蓋には、守山市と大津市を結ぶ「琵琶湖大橋」、伝統漁法の「エリ漁」（湖岸に矢印型に網を張る漁）の矢印、それに源氏ボタルが描かれています。守山市にとって源氏ボタルは、皇室に献上されていた歴史があり、今も市民の手でホタルが棲む環境を大切に守っています。

毎年6月ごろになると、「守山市民運動公園」内にある水辺では、源氏ホタルが乱舞するようすを見ることができ、幻想的な雰囲気に包まれます。

＜守山市民運動公園について＞
●住　　所：守山市三宅町
●アクセス：JR「守山駅」より徒歩約30分
●見　　頃：6月ごろ
●問合せ先：守山市観光物産協会　TEL：077-582-1266
●参考URL：https://www.moriyamayamamori.jp/（守山市観光物産協会）
※マンホール蓋に関する問合せは、守山市上下水道事業所施設工務課（077-582－1128）までお願いします。